

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月10日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <https://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員CEO (氏名)島田 和幸
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室長 (氏名)松本 浩一 (TEL)045-226-1200
 定時株主総会開催予定日 2021年6月26日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	114,909	△9.4	11,576	△18.0	11,784	△17.7	8,016	△19.7
2020年3月期	126,810	3.5	14,125	14.0	14,313	15.9	9,985	15.4
(注) 包括利益	2021年3月期 8,023 百万円 (△19.0%)		2020年3月期 9,901 百万円 (15.0%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	66.45	66.18	11.7	12.3	10.1
2020年3月期	83.11	82.47	15.8	16.4	11.1
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期 - 百万円		2020年3月期 - 百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	97,533	71,215	72.3	584.73
2020年3月期	94,478	67,138	70.4	551.99
(参考) 自己資本	2021年3月期 70,554 百万円		2020年3月期 66,546 百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	10,011	△8,135	△4,170	25,487
2020年3月期	14,380	△11,309	6,292	27,991

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	4,090	40.9	6.5
2021年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	4,102	51.2	6.0
2022年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00		50.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,450	△3.3	5,000	2.5	5,100	2.3	3,500	△2.1	29.01
通 期	109,000	△5.1	12,000	3.7	12,200	3.5	8,100	1.0	67.13

(注)2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した業績予想となります。2021年3月期を同様の基準で試算した場合、売上高の前期比は3.7%増の見通しとなります。また、営業利益、経常利益、当期純利益については、適用前後での変更はございません。

※ 注記事項

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	130,353,200株	2020年3月期	130,353,200株
2021年3月期	9,690,356株	2020年3月期	9,794,956株
2021年3月期	120,639,516株	2020年3月期	120,139,699株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	99,112	△9.6	10,433	△15.8	10,645	△15.2	7,174	△16.3
2020年3月期	109,628	2.2	12,397	14.1	12,554	16.0	8,576	16.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	59.47	59.23
2020年3月期	71.39	70.83

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	77,822	54,460	69.1	445.87
2020年3月期	75,615	51,231	67.0	420.04

(参考) 自己資本 2021年3月期 53,799百万円 2020年3月期 50,639百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については【添付資料】5ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報)	17
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当連結会計年度の概況

当連結会計年度の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内およびインバウンド需要の落ち込みにより、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が減収となり、全体では114,909百万円(前期比9.4%減)となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費において、広告宣伝費の効率的な使用に努めたほか、販売手数料などの変動費が減少したものの、売上減による売上総利益の減少などにより、11,576百万円(前期比18.0%減)となりました。経常利益は11,784百万円(前期比17.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は8,016百万円(前期比19.7%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

②事業別の状況

1)化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、65,140百万円(前期比14.2%減)となりました。

	2020年3月期		2021年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	59,478	78.4	49,637	76.2	△16.5
アテニア化粧品	12,674	16.7	12,337	19.0	△2.7
boscia(ボウシャ)	2,810	3.7	2,421	3.7	△13.9
その他	927	1.2	743	1.1	△19.8
合計	75,891	100.0	65,140	100.0	△14.2

	2020年3月期		2021年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	29,081	38.3	32,017	49.1	10.1
店舗販売	29,666	39.1	18,078	27.8	△39.1
卸販売他	9,096	12.0	7,726	11.9	△15.1
海外	8,047	10.6	7,317	11.2	△9.1
合計	75,891	100.0	65,140	100.0	△14.2

ファンケル化粧品は、店舗販売から通信販売への積極的な誘導や、外部通販の強化により通信販売は増収となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗販売、卸販売他および海外が減収となり、49,637百万円(前期比16.5%減)となりました。

アテニア化粧品は、通信販売および中国向け越境E Cが好調な海外が増収となったものの、新型コロナウイルス感染症により店舗販売が減収となり、12,337百万円(前期比2.7%減)となりました。

boscia(ボウシャ)は、E Cチャネルを強化したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、化粧品専門店や百貨店などへの販売が減少し、2,421百万円(前期比13.9%減)となりました。

営業損益

損益面では、広告宣伝費の効率的な使用や、販売手数料などの変動費が減少したものの、売上減による売上総利益の減少などにより、営業利益は7,954百万円(前期比32.4%減)となりました。

2) 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、41,191百万円(前期比6.4%減)となりました。

	2020年3月期		2021年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	15,710	35.7	17,994	43.7	14.5
店舗販売	12,501	28.4	8,072	19.6	△35.4
卸販売他	13,176	29.9	11,989	29.1	△9.0
海外	2,617	6.0	3,134	7.6	19.8
合計	44,006	100.0	41,191	100.0	△6.4

店舗販売から通信販売への積極的な誘導や、定期販売、外部通販の強化により通信販売が増収となったほか、中国向け越境ECが好調で海外が増収となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗販売および卸販売他が減収となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、主力製品の売上構成比が高まったことによる売上総利益率の改善に加え、広告宣伝費の効率的な使用や、販売手数料などの変動費の減少などにより、営業利益は5,042百万円(前期比23.1%増)となりました。

3) その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、8,578百万円(前期比24.1%増)となりました。

	2020年3月期		2021年3月期		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	2,031	2,172	2,172	2,172	6.9
青汁	2,420	2,462	2,462	2,462	1.7
その他	2,459	3,943	3,943	3,943	60.3
合計	6,911	8,578	8,578	8,578	24.1

健康意識の高まりなどにより発芽米、青汁が増収となったことに加え、不織布マスクや「クリーン&バリアシリーズ」の発売などによりその他が増収となりました。

営業損益

損益面では、売上増による売上総利益の増加などにより、営業利益は224百万円(前期比146.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べて3,055百万円増加し、97,533百万円となりました。この要因は、流動資産の減少1,274百万円および固定資産の増加4,329百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少2,503百万円および受取手形及び売掛金の増加1,475百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産の増加4,317百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,021百万円減少し、26,318百万円となりました。この要因は、流動負債の減少937百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、未払法人税等の減少443百万円、未払費用の減少などによる流動負債「その他」の減少222百万円および買掛金の減少147百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,076百万円増加し、71,215百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金の増加8,016百万円および配当金の支払いによる利益剰余金の減少4,100百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.9ポイント上昇し、72.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は25,487百万円となり、前連結会計年度末より2,503百万円減少いたしました。

当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は10,011百万円(前連結会計年度は14,380百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前当期純利益11,235百万円、減価償却費3,665百万円などによる増加と、売上債権の増減額1,526百万円および法人税等の支払額3,564百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8,135百万円(前連結会計年度は11,309百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出7,395百万円および無形固定資産の取得による支出812百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,170百万円(前連結会計年度は6,292百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額4,096百万円などによる減少であります。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境を展望すると、わが国経済は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種などにより一定程度の景気回復が見込まれるものの、収束に関しては見通しが不透明な状況が続くと想定されます。また、コロナ禍により生まれた新たなニーズや、生活様式の変化はより一層拡大することが見込まれます。

このような状況の中、当企業集団は2022年3月期を初年度とする中期経営計画の方針のもと、コロナ禍で生じた新たな「不」の解消を図るとともに、社会環境の変化に即応し、国内外で持続的な成長を実現してまいります。

ファンケルの最大の強みである商品の独自性に加え、マルチチャネル(通信販売、店舗販売、卸販売、海外)を活用した「ファンケルらしいOMO」の取り組みをさらに強化いたします。

化粧品関連事業は、ファンケル化粧品にて基礎スキンケアのリニューアルにより、継続性の高いお客様を育成することに加え、新たなスペシャルケアアイテムの投入などに取り組みます。アテニア化粧品は、「ドレススノー」などの新製品の投入を積極的に行うとともに、海外を成長ドライバーと位置づけ、現地ニーズに合わせた製品開発などにより中国における越境ECを強化いたします。boscia(ボウシャ)は、好調なコストコ、アマゾンに加え、自社チャネルのboscia.comを強化し、EC比率を高めてまいります。

栄養補助食品関連事業は、機能性表示食品を中心とした製品開発と、スター製品の定期的なリニューアルに加え、「パーソナルワン」の科学的裏付けのあるサービスと豊富な製品ラインアップを強みに成長を図ります。海外は、中国における越境ECのさらなる強化に加え、一般貿易販売において品目数を増加させるなど、両輪での売上拡大を目指します。

これらの状況をふまえ、2022年3月期の業績につきましては、売上高109,000百万円(前期比5.1%減)、営業利益12,000百万円(前期比3.7%増)、経常利益12,200百万円(前期比3.5%増)、当期純利益8,100百万円(前期比1.0%増)と予想しております。

なお、2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、当該基準に基づいた業績予想となります。2021年3月期を同様の基準で試算した場合、売上高の前期比は3.7%増の見通しとなります。また、営業利益、経常利益、当期純利益については、適用前後での変更はございません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業集団は、連結財務諸表の期間比較可能性を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,991	25,487
受取手形及び売掛金	12,114	13,590
商品及び製品	5,602	5,805
原材料及び貯蔵品	6,579	5,848
その他	1,274	1,506
貸倒引当金	△264	△216
流動資産合計	53,296	52,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,380	31,670
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,983	△17,768
建物及び構築物（純額）	13,396	13,901
機械装置及び運搬具	11,503	11,699
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,863	△8,730
機械装置及び運搬具（純額）	3,639	2,969
工具、器具及び備品	8,886	9,299
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,509	△8,032
工具、器具及び備品（純額）	1,377	1,267
土地	14,143	14,214
リース資産	294	258
減価償却累計額及び減損損失累計額	△141	△150
リース資産（純額）	152	108
建設仮勘定	2,616	7,180
有形固定資産合計	35,324	39,642
無形固定資産		
その他	2,246	2,253
無形固定資産合計	2,246	2,253
投資その他の資産		
投資有価証券	226	199
長期貸付金	-	100
繰延税金資産	1,965	1,885
その他	1,443	1,456
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	3,609	3,615
固定資産合計	41,181	45,511
資産合計	94,478	97,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,918	2,770
リース債務	62	53
未払金	5,476	5,392
未払法人税等	2,387	1,943
賞与引当金	1,306	1,293
ポイント引当金	1,918	2,014
資産除去債務	4	7
役員賞与引当金	116	-
その他	1,545	1,322
流動負債合計	15,735	14,798
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,200	10,150
リース債務	101	63
退職給付に係る負債	777	783
資産除去債務	434	427
その他	90	94
固定負債合計	11,604	11,519
負債合計	27,339	26,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	64,260	68,050
自己株式	△19,938	△19,726
株主資本合計	66,823	70,825
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	52	△19
退職給付に係る調整累計額	△329	△251
その他の包括利益累計額合計	△277	△270
新株予約権	592	660
純資産合計	67,138	71,215
負債純資産合計	94,478	97,533

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	126,810	114,909
売上原価	36,266	33,798
売上総利益	90,543	81,110
販売費及び一般管理費		
販売促進費	14,542	15,668
荷造運搬費	5,375	5,881
広告宣伝費	15,402	11,850
販売手数料	9,315	6,819
通信費	1,934	1,895
役員報酬	677	522
給料及び手当	12,089	10,813
賞与引当金繰入額	1,057	958
退職給付費用	316	469
法定福利費	1,829	1,792
福利厚生費	371	300
減価償却費	2,062	2,160
研究開発費	1,229	1,003
賃借料	1,545	1,148
貸倒引当金繰入額	93	38
その他	8,574	8,210
販売費及び一般管理費合計	76,417	69,534
営業利益	14,125	11,576
営業外収益		
受取利息	52	51
受取配当金	0	0
受取賃貸料	57	152
受取補償金	16	14
受取事務手数料	44	34
受取保険金	46	14
助成金収入	-	42
雑収入	55	56
営業外収益合計	272	366
営業外費用		
固定資産賃貸費用	12	13
為替差損	0	118
社債発行費	44	-
雑損失	28	27
営業外費用合計	85	158
経常利益	14,313	11,784

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	1
退職給付制度移行益	36	-
助成金収入	-	482
特別利益合計	36	483
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	16	54
減損損失	40	246
店舗閉鎖損失	100	66
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	617
その他	4	47
特別損失合計	162	1,033
税金等調整前当期純利益	14,187	11,235
法人税、住民税及び事業税	3,874	3,175
法人税等調整額	328	42
法人税等合計	4,202	3,218
当期純利益	9,985	8,016
親会社株主に帰属する当期純利益	9,985	8,016

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	9,985	8,016
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△15	△71
退職給付に係る調整額	△67	77
その他の包括利益合計	△83	6
包括利益	9,901	8,023
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,901	8,023
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,795	11,706	58,902	△21,160	60,243
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△3,840	-	△3,840
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	9,985	-	9,985
自己株式の取得	-	-	-	△1	△1
自己株式の処分	-	-	△786	1,223	437
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	5,358	1,221	6,580
当期末残高	10,795	11,706	64,260	△19,938	66,823

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	67	△261	△193	866	60,916
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	△3,840
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	-	-	9,985
自己株式の取得	-	-	-	-	△1
自己株式の処分	-	-	-	-	437
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△15	△67	△83	△274	△358
当期変動額合計	△15	△67	△83	△274	6,221
当期末残高	52	△329	△277	592	67,138

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,795	11,706	64,260	△19,938	66,823
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	△4,100	-	△4,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	8,016	-	8,016
自己株式の取得	-	-	-	△1	△1
自己株式の処分	-	-	△126	213	87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	3,789	212	4,001
当期末残高	10,795	11,706	68,050	△19,726	70,825

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	52	△329	△277	592	67,138
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	△4,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	-	-	8,016
自己株式の取得	-	-	-	-	△1
自己株式の処分	-	-	-	-	87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△71	77	6	68	75
当期変動額合計	△71	77	6	68	4,076
当期末残高	△19	△251	△270	660	71,215

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,187	11,235
減価償却費	3,307	3,665
減損損失	40	246
株式報酬費用	161	156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	93	△43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△206	△12
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	51	△116
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	242	96
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△59	118
受取利息及び受取配当金	△52	△51
為替差損益 (△は益)	2	191
固定資産売却損益 (△は益)	1	△1
固定資産除却損	16	54
店舗閉鎖損失	100	66
社債発行費	44	-
受取保険金	△46	△14
助成金収入	-	△524
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	617
売上債権の増減額 (△は増加)	3,462	△1,526
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△732	500
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△121	△335
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	5	50
仕入債務の増減額 (△は減少)	△335	△135
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△708	△347
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△33	△10
その他	△11	△227
小計	19,409	13,652
利息及び配当金の受取額	2	1
法人税等の支払額	△5,077	△3,564
助成金の受取額	-	524
新型コロナウイルス感染症関連損失の支払額	-	△617
その他	46	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,380	10,011

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,533	△7,395
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△699	△812
投資有価証券の取得による支出	△49	-
貸付金の回収による収入	100	-
その他の支出	△209	△210
その他の収入	81	279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,309	△8,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	10,205	-
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△3,834	△4,096
その他	△77	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,292	△4,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,355	△2,503
現金及び現金同等物の期首残高	18,635	27,991
現金及び現金同等物の期末残高	27,991	25,487

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「投資その他の資産」の「敷金及び保証金」および「長期前払費用」は、金額的重要性が乏しいため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

また、「流動負債」の「未払費用」についても、金額的重要性が乏しいため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」に表示していた「敷金及び保証金」1,157百万円、「長期前払費用」121百万円、「その他」165百万円は、「その他」1,443百万円として組み替えております。

また、「流動負債」に表示していた「未払費用」759百万円、「その他」786百万円は、「その他」1,545百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当企業集団は、化粧品および栄養補助食品の製造販売を主とした多岐にわたる事業を営んでおります。当社および当社の連結子会社には、単一製品の製造に従事する会社だけでなく複数製品の製造販売を営んでいる会社もあり、当企業集団としては取り扱う製品ごとに国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当企業集団は取り扱う製品を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「化粧品関連事業」、「栄養補助食品関連事業」および「その他関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品関連事業」は、化粧品の製造販売およびOEM供給を行っております。

「栄養補助食品関連事業」は、栄養補助食品の製造販売を行っております。

「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2020年6月22日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	75,891	44,006	6,911	126,810	-	126,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	75,891	44,006	6,911	126,810	-	126,810
セグメント利益	11,768	4,095	90	15,955	△1,829	14,125
セグメント資産	36,369	21,127	2,745	60,242	34,235	94,478
その他の項目						
減価償却費	1,744	1,006	150	2,900	407	3,307
減損損失	27	12	0	40	-	40
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	5,664	5,098	214	10,977	231	11,208

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△1,829百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

(2)セグメント資産の調整額34,235百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の「現金及び預金」、「土地」および「建物」であります。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	65,140	41,191	8,578	114,909	-	114,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	65,140	41,191	8,578	114,909	-	114,909
セグメント利益	7,954	5,042	224	13,221	△1,644	11,576
セグメント資産	36,763	26,940	4,040	67,744	29,789	97,533
その他の項目						
減価償却費	2,098	1,028	151	3,279	386	3,665
減損損失	162	78	4	246	0	246
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	2,023	5,883	246	8,153	212	8,365

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△1,644百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等にかかる費用であります。
 - (2)セグメント資産の調整額29,789百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の「現金及び預金」、「土地」および「建物」であります。
- 3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	551円99銭	584円73銭
1株当たり当期純利益	83円11銭	66円45銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	82円47銭	66円18銭

(注) 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,985	8,016
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	9,985	8,016
普通株式の期中平均株式数(株)	120,139,699	120,639,516
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数の主要な内訳(株)		
新株予約権	943,817	496,263
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	2024年満期ユーロ円建転換 社債型新株予約権付社債 (額面金額10,000百万円 新株予約権1,000個)	2024年満期ユーロ円建転換 社債型新株予約権付社債 (額面金額10,000百万円 新株予約権1,000個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。